2022 年度以降の入試について（予告）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府

2022 年度以降入学者対象（2021 年度夏期実施分以降）の、横浜国立大学大学院都市イノベーション学府博士課程前期および博士課程後期入学試験における入試方法を次のように変更します。**詳細は当該実施分の募集要項で確認をしてください。**

大学院都市イノベーション学府博士課程前期入学試験
・都市地域社会コース都市基盤系問題【筆記試験選抜】

従来（2021 年度までの入試）	変更点（2022 年度以降の入試）
＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ・配点 100 点	＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ・配点 50 点 ※得点の計算方法については別記のとおり
＜学科試験Ｉ＞ ・選抜方法 都市基盤系問題志望者は、数学 1 題、及び構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学から 1 分野を選び解答。 ・配点 200 点	＜学科試験Ｉ＞ ・選抜方法 都市基盤系問題志望者は、数学 1 題、及び専門科目 10 題（構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学の 5 分野からそれぞれ 2 題ずつ出題）の中から合計 4 題を選び解答。 ・配点 250 点

※試験時間（120 分）や満点（500 点満点）に変更はありません。

・都市地域社会コース地域社会系問題【筆記試験選抜】

従来（2021 年度までの入試）	変更点（2022 年度以降の入試）
＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ※ただし、「地域社会系問題」を志望する者については、希望する研究分野により、ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・韓国語・スペイン語から１ヶ国語を選択して試験を行うことができる。 都市地域社会専攻都市地域社会コースの「地域社会系問題」を志望する者は、研究希望内容により、英語に代えてドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・中国語・韓国語を受験科目とすることができる。希望する場合には、事前に指導を希望する教員と連絡を取り、出願時に受験する外国語科目を選択すること。（出願時、利用言語を願書に記載すること。）ただし、母語を上記の外国語として受験することはできない。 ① ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語を選択する場合、以下の CEFR 準拠検定試験のスコアをもって外国語試験の筆記試験に換えることができる。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ｉ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して２年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・ドイツ語：Zertfikat Deutsch、Goethe-Zertifikat、TestDaf、TELC 等 ・フランス語：DALF、DELF、TCF 等 ・ロシア語：TRKI 等 ・スペイン語：DELE あるいは西検等	＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ※ただし、「地域社会系問題」を志望する者については、希望する研究分野により、ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・韓国語・スペイン語から１ヶ国語を選択して試験を行うことができる。 都市地域社会専攻都市地域社会コースの「地域社会系問題」を志望する者は、研究希望内容により、英語に代えてドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・中国語・韓国語を受験科目とすることができる。希望する場合には、事前に指導を希望する教員と連絡を取り、出願時に受験する外国語科目を選択すること。（出願時、利用言語を願書に記載すること。）ただし、母語を上記の外国語として受験することはできない。 ① ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語を選択する場合、以下の CEFR 準拠検定試験のスコアを用いた選抜とし、筆記による試験は行わない。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ｉ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して５年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・ドイツ語：Zertfikat Deutsch、Goethe-Zertifikat、TestDaf、TELC 等 ・フランス語：DALF、DELF、TCF 等 ・ロシア語：TRKI 等 ・スペイン語：DELE あるいは西検等

②　中国語・韓国語を選択する場合、以下のCEFR 準拠検定試験のスコアを用いた選抜とし、筆記による試験は行わない。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ⅰ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して２年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・中国語：漢語水平考試（HSK） ・韓国語：TOPIKⅡ、「ハングル」能力検定試験 ③　CEFR 準拠検定試験の換算方法は、下記の関係を基本として、各検定試験の該当レベルでのスコアを換算し外国語の点数とする。 Ａ１　：　10 点 Ａ２　：　40 点 Ｂ１　：　70 点 Ｂ２　：　90 点 Ｃ１，Ｃ２　：　100 点 ④　中国語検定試験（漢語水平考試 HSK）の換算方法 上記③のレベルにスコアを換算し外国語の点数とする。 １級　：　Ａ１ ２級　：　Ａ２ ３級　：　Ｂ１ ４級　：　Ｂ２ ５級・６級　：　Ｃ１，Ｃ２ ⑤　韓国語検定試験の換算方法 ・「ハングル」能力検定試験 上記③のレベルにスコアを換算し外国語の点数とする。 ４級　：　Ａ１ ３級　：　Ａ２ 準２級　：　Ｂ１ ２級　：　Ｂ２ １級　：　Ｃ１	②　中国語・韓国語を選択する場合、対象となる試験のスコアを用いた選抜とし、筆記による試験は行わない。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ⅰ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して２年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・中国語：漢語水平考試（HSK） ・韓国語：TOPIKⅡ、「ハングル」能力検定試験 ③　CEFR 準拠検定試験の換算方法は、下記の関係を基本として、各検定試験の該当レベルでのスコアを換算し外国語の点数とする。 Ａ１　：　10 点 Ａ２　：　40 点 Ｂ１　：　70 点 Ｂ２　：　90 点 Ｃ１，Ｃ２　：　100 点 ④　中国語検定試験（漢語水平考試 HSK）の換算方法 上記③のレベルにスコアを換算し外国語の点数とする。 １級　：　Ａ１ ２級　：　Ａ２ ３級　：　Ｂ１ ４級　：　Ｂ２ ５級・６級　：　Ｃ１，Ｃ２ ⑤　韓国語検定試験の換算方法 ・「ハングル」能力検定試験 上記③のレベルにスコアを換算し外国語の点数とする。 ４級　：　Ａ１ ３級　：　Ａ２ 準２級　：　Ｂ１ ２級　：　Ｂ２ １級　：　Ｃ１

・TOPIKⅡ 以下の方法で換算し、外国語の点数とする。 （得点＋40）÷3 商の小数点以下は四捨五入 250 点以上は 100 点とする。 なお、TOPIK I は対象としない。	・TOPIKⅡ 以下の方法で換算し、外国語の点数とする。 （得点＋40）÷3 商の小数点以下は四捨五入 250 点以上は 100 点とする。 なお、TOPIK I は対象としない。

※配点、他の試験科目、試験時間（120 分）及び満点（500 点満点）に変更はありません。

・都市地域社会専攻国際基盤学コース【筆記試験選抜】

従来（2021 年度までの入試）	変更点（2022 年度以降の入試）
＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ・配点 100 点 ＜学科試験Ⅰ＞ ・選抜方法 数学 1 題を解答。ならびに、構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学から 1 分野を選び解答。 ・配点 200 点	＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ・配点 50 点 ※得点の計算方法については別記のとおり ＜学科試験Ⅰ＞ ・選抜方法 数学 1 題、及び専門科目 10 題（構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学の 5 分野からそれぞれ 2 題ずつ出題）の中から合計 4 題を選び解答。 ・配点 250 点

※試験時間（120 分）や満点（500 点満点）に変更はありません。

※建築都市文化専攻各コースの試験内容には変更ありません

＜都市地域社会専攻都市地域社会コース都市基盤系問題および国際基盤学コースの外国語得点の計算について＞

上述のとおり、配点が 50 点に変更となるため、以下のとおりとします。小数点以下の得点は四捨五入とします。

TOEIC のスコア

以下の方法で 50 点満点に換算し、外国語（英語）の点数とする。

349 点以下：　0 点
350～500 点：[（TOEIC-350）/3]/2　0～ 25 点
500～800 点：[（TOEIC-500）/6+50]/2　25～50 点
801 点以上：　50 点

TOEFL のスコア

TOEFL-iBT のスコアは､以下の得点換算表を用いて 50 点満点に換算し外国語の点数とする。

TOEFL -iBT	外国語	TOEFL -iBT	外国語	TOEFL -iBT	外国語	TOEFL -iBT	外国語	TOEFL -iBT	外国語
90～120	50	76	43	64	35	53	27	43	12
88～89	50	74～75	41	62～63	33	52	26	41～42	11
86～87	49	72～73	40	61	32	51	24	40	8
84～85	48	71	40	59～60	32	49～50	22	39	6
83	47	69～70	38	58	31	48	20	38	5
81～82	45	68	37	57	30	47	19	36～37	1
79～80	44	66～67	37	56	28	45～46	17	0～35	0
77～78	44	65	36	54～55	28	44	14		

IELTS のスコア

以下の方法で 50 点満点に換算し、外国語（英語）の点数とする。

7 点以上の場合　：　50 点
4 点以上 7 点以下の場合　：[（IELTS−1）×50/3]/2 点
3 点以上 4 点以下の場合　：[（IELTS−3）×50] /2 点
3 点以下の場合　：　0 点

大学院都市イノベーション学府博士課程後期入学試験
・地域社会系問題【筆記試験選抜】

従来（2021 年度までの入試）	変更点（2022 年度以降の入試）
＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ※ただし、「地域社会系問題」を志望する者については、希望する研究分野により、ドイツ語・ロシア語・中国語・スペイン語から１ヶ国語を選択して試験を行うことができる。 「地域社会系問題」を志望する者は、研究希望内容により、英語に代えてドイツ語・ロシア語・スペイン語・中国語を受験科目とすることができる。希望する場合には、事前に指導を希望する教員と連絡を取り、出願時に受験する外国語科目を選択すること。（出願時、利用言語を願書に記載すること。）ただし、母語を上記の外国語として受験することはできない。 ① ドイツ語・ロシア語・スペイン語を選択する場合、以下の CEFR 準拠検定試験のスコアをもって外国語試験の筆記試験に換えることができる。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ｉ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して２年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・ドイツ語：Zertfikat Deutsch、Goethe-Zertifikat、TestDaf、TELC 等 ・ロシア語：TRKI 等 ・スペイン語：DELE あるいは西検等	＜外国語＞ ・選抜方法 英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜） ※ただし、「地域社会系問題」を志望する者については、希望する研究分野により、ドイツ語・ロシア語・中国語・スペイン語から１ヶ国語を選択して試験を行うことができる。 「地域社会系問題」を志望する者は、研究希望内容により、英語に代えてドイツ語・ロシア語・スペイン語・中国語を受験科目とすることができる。希望する場合には、事前に指導を希望する教員と連絡を取り、出願時に受験する外国語科目を選択すること。（出願時、利用言語を願書に記載すること。）ただし、母語を上記の外国語として受験することはできない。 ① ドイツ語・ロシア語・スペイン語を選択する場合、以下の CEFR 準拠検定試験のスコアを用いた選抜とし、筆記による試験は行わない。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ｉ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して５年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・ドイツ語：Zertfikat Deutsch、Goethe-Zertifikat、TestDaf、TELC 等 ・ロシア語：TRKI 等 ・スペイン語：DELE あるいは西検等

②　中国語を選択する場合、以下の CEFR 準拠検定試験のスコアを用いた選抜とし、筆記による試験は行わない。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ⅰ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して２年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・中国語：漢語水平考試（HSK） ③　CEFR 準拠検定試験の換算方法は、下記の関係を基本として、各検定試験の該当レベルでのスコアを換算し外国語の点数とする。 Ａ１　：　10 点 Ａ２　：　40 点 Ｂ１　：　70 点 Ｂ２　：　90 点 Ｃ１，Ｃ２　：　100 点 ④　中国語検定試験（漢語水平考試 HSK）の換算方法 上記③のレベルにスコアを換算し外国語の点数とする。 １級　：　Ａ１ ２級　：　Ａ２ ３級　：　Ｂ１ ４級　：　Ｂ２ ５級・６級　：　Ｃ１，Ｃ２	②　中国語を選択する場合、対象となる試験のスコアを用いた選抜とし、筆記による試験は行わない。対象となる試験のスコア証明書（原本のみ、コピー不可）を出願時もしくは学科試験当日の学科試験Ⅰ開始前に試験監督者等の求めに応じて提出すること。証明書の受験日は学科試験当日から起算して２年以内のものであること。条件を満たしたスコアの提出がない場合、**失格とする。**提出されたスコア証明書は面接時に返却する。 ・中国語：漢語水平考試（HSK） ③　CEFR 準拠検定試験の換算方法は、下記の関係を基本として、各検定試験の該当レベルでのスコアを換算し外国語の点数とする。 Ａ１　：　10 点 Ａ２　：　40 点 Ｂ１　：　70 点 Ｂ２　：　90 点 Ｃ１，Ｃ２　：　100 点 ④　中国語検定試験（漢語水平考試 HSK）の換算方法 上記③のレベルにスコアを換算し外国語の点数とする。 １級　：　Ａ１ ２級　：　Ａ２ ３級　：　Ｂ１ ４級　：　Ｂ２ ５級・６級　：　Ｃ１，Ｃ２

※他の系問題の入試内容等に変更ありません。